

地域県土警察常任委員会資料

(令和8年1月21日)

〔 件 名 〕

- 第2次鳥取県性にかかわりなく誰もが共同参画できる社会づくり計画（第6次鳥取県男女共同参画計画）（素案）に係るパブリックコメントの実施結果及び第3回鳥取県男女共同参画審議会の開催結果について
【未来創造課】… 2ページ
- 第3次鳥取県女性活躍推進計画（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について
【未来創造課】… 3ページ
- 「みんなで話彩や（はなさいや）チーム」の活動報告について
【県民運動課】… 4ページ

男女協働未来創造本部

第2次鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画（第6次鳥取県男女共同参画計画）（素案）に係るパブリックコメントの実施結果及び第3回鳥取県男女共同参画審議会の開催結果について

令和8年1月21日

未来創造課

男女共同参画社会基本法及び鳥取県男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画計画として策定する「第2次鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画（第6次鳥取県男女共同参画計画）（素案）」について、以下のとおりパブリックコメントを実施しました。

また、このパブリックコメントを受けて、第3回鳥取県男女共同参画審議会を開催しましたので、結果を報告します。

1 募集概要 （1）募集期間：令和7年12月17日から令和8年1月7日まで（22日間）

（2）募集方法：郵送、ファクシミリ、メール、電子申請サービス、意見箱への投函、市町村窓口、説明会等

2 意見の件数等 46件（12名）（うち県内28件（8名）、県外9件（3名）、不明9件（1名））

3 主な意見と対応方針

区分	意見の概要	対応方針等
用語	「多様な幸せ（well-being）」とあるが、「多様な幸せ」の意味が伝わりにく いし、「well-being」とは「幸せ」ではなく「よりよい状態」。括弧書きでは なく、注釈を入れてはどうか。	「多様な幸せ」を削除し、「ウェ ルビーイング（well-being）」と して注釈を追記します。
	思い込み（アンコンシャス・バイアス）やウェルビーイングなどの新しい用語 を無理に普及させようとするのは混乱の元なので、わかりやすさを優先して欲 しい。県民の誰もがわかりやすい言葉である必要を感じる。	それぞれ注釈を追記します。
農業へ の女性 参画	まずは多くの女性が農業に関心を持ち、農業人口が多くなることが大切。しかし、 力仕事などといったイメージのバイアスがあるので、それを解決するためにスマート 農業の取組などが必要。「女性の経営参画に向けて活動しやすい環境づくりを進 めます」とあるが、もう少しその辺りがイメージできるような表現があるとよい。	スマート農林水産業の導入によ る女性の就業促進を追記しま す。
地域へ の女性 参画	政策に関心を持つ人を増やすためにも、審議会や委員会等の会議に参画する又 ははたいと思う子育て中の方のために、託児を設けるなどしてはどうか。	女性や若者が参画しやすい環境づ りの推進として託児を追記します。
	女性の自治会長の割合を増やすためにどうするかという具体策、主な取組が書か れていない。また主な取組の「女性」は「女性や若者」としてはどうか。	自治会の取組及び若者につい て追記します。
男性の 視点	妊娠・出産等は男性にも女性にも大事な事。「女性だけでなく男性も」といった後付 けではなく、男性も主語にしてほしい。男女ともに性に関する課題があるように思う。	段落末尾でなく冒頭に「性別に かかわらず」と追記します。
	男女どちらの視点も大切。男性にも身体的・生理的な健康、心理的・社会的なプレ ッシャー等はたくさんある。特に男性の相談場所の記載はあるか。	男性特有のプレッシャーや男性 相談について追記します。
性教育	現場では身近な人による低学年の女兒への性暴力が実際に起こっている。親もど うしたらよいかわからない状態。やはり早期から、年齢や成長に応じた知識と倫理 を身につけられるように、家庭の中でも性や生殖に関してオープンに教育できるよ うになってほしい。	子どもの頃からの教育・普及啓発 を追記します。
メディ アリテ ラシー	「様々な情報を自分の判断で適切に見分けられる能力」とあるが、自分で判断する前 に巻き込まれてしまうような危険なものだと認識できるメディアリテラシーが必要であり、 「様々な情報を自分で判断し」ということだけでは足りない。客観的には悪い判断 でも本人が適切だと判断したらそれでよいのか。「自分の判断で」は不適切と考える。	「自分で判断し」を削除します。
相談	どの施策にも、相談支援の視点が必要と考える。相談は全施策に関わるとても大事 なものであり、計画上に明示した方がよい。	相談体制の充実等について追 記します。

4 第3回鳥取県男女共同参画審議会の開催結果について

（1）開催日 令和8年1月15日（木）

（2）計画（案）に対する主な意見等

○複合的差別のことが入っていない。間接的には書かれているようだが、人権に関わっている方ならわかるかもしれないが、一般県民の方にはわからない。複合的差別の概念は一般的にはまだ浸透していないので、理解を拡大する啓発などの取組をすとか、男女協働参画社会の実現に向けた基盤づくりの中で検討するなどしては。

○ひとりで親家庭などの生活上困難な状況に置かれている人への支援として、「地域の民生委員とのつながり」がこの度追記されているが、この頃は民生委員への相談も難しいという実情がある中で、この文言に違和感がある。「地域のつながりなど」といった言葉を足すなど、総合的な支援をするという書きぶりにしては。

5 今後のスケジュール（予定）

令和8年2月 審議会から知事へ答申 → 最終案決定 → 定例県議会へ附議

3月 計画策定



第3次鳥取県女性活躍推進計画（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について

令和8年1月21日

未来創造課

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づいて策定する「第3次鳥取県女性活躍推進計画（素案）」について、パブリックコメントを実施しましたので、その結果を報告します。

1 募集概要

- （1）募集期間：令和7年12月17日から令和8年1月7日まで（22日間）
- （2）募集方法：郵送、ファクシミリ、メール、電子申請サービス、意見箱への投函、市町村窓口、説明会等

2 意見の件数等

18件（6名）（うち県内8件（4名）、県外2件（1名）、不明8件（1名））

3 主な意見と対応方針

区分	意見の概要	対応方針等
情報公開	計画の進捗状況の点検・評価や施策の検証等の結果は市民に対してホームページ等を使って容易にアクセスできるように、公開することを明記して義務付けてはどうか。また、その結果を得る過程である女性活躍とっとり会議についてもその内容（資料、議事録等）を市民に対して公開することを明記してはどうか。女性活躍の諸活動は市民の理解、協力があってこそ進むものであり、そのためには市民への情報提供をしっかりと行って理解を得る必要がある。	計画の進捗状況の点検・評価や、女性活躍とっとり会議の資料については、ホームページで公開しています。
夫婦の姓	「夫婦の姓に関する具体的な制度のあり方に係る国での議論の動向を注視」とあるが、何のために行うのか。 「夫婦の姓に関する具体的な制度のあり方に関する国での議論の動向を注視」とは、どういった目的で何をなすのか市民に分からないため、補足説明があった方がよいのではないか。	氏制度は家族の在り方や国民の生き方に関わるテーマであり、女性の社会進出が急速に進んでいる現状を踏まえ、国の議論の動向を注視するものです。
女性管理職の登用	女性が管理職に就かなければ活躍できないという前提に立った考え方は、現在の多様な働き方や価値観に必ずしも合致していないのではないか。管理職に就かなくとも、専門性や現場力を生かして活躍できる風土や評価の仕組みを整えることこそが重要だと考える。	女性が管理職に就かなければ活躍できないという前提に立ったものではなく、性別を問わず働くことを希望する全ての人が、希望する働き方ができることを目指しているものです。
理工系	ジェンダー平等などでよく引き合いに出される北欧では、女性が自由意志で職業に就いた結果、いわゆる「女性らしい」職業選択が多くなっていることが明らかになっている。その点は考慮されているか。女性の自由意志を尊重せずに、例えば理系の進学や就職に進んだ結果ミスマッチを起こしてしまわないよう、慎重な対応が必要であると考え、どのような対応を検討しているか。	内閣府の調査によると、女性が理工系分野に興味を持つきっかけとして、幼少期の理系的経験が影響している可能性がうかがえることから、思い込みにより可能性を潰してしまうことがないよう、子どもたちが実際に理工系分野を体験できる機会の提供等を検討しています。

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年2月 女性活躍とっとり会議 最終案確認（書面）

3月 常任委員会報告

「みんなで話彩や（はなさいや）チーム」の活動報告について

令和8年1月21日
県民運動課

性別によるアンコンシャス・バイアスへの気づき、固定的性別役割分担意識の解消に向けた県民運動の一つとして、本年5月に学生や若手社会人で構成する「みんなで話彩やチーム」を結成し、地域・若者・子育て等の集まりや団体等の様々な県民の方との『みんなで話彩や』（広聴・意見交換）により性別に起因するモヤモヤ事例やメンバー課題等の声を集めてきたところです。

下記のとおり「みんなで話彩やチーム」から知事へこれまでの活動について報告を行いました。

記

- 1 日 時 12月20日（土）午後2時15分から2時55分まで
- 2 場 所 鳥取県庁 本庁舎3階 第4応接室
- 3 内 容 「みんなで話彩やチーム」の活動報告
みんなで話彩やの実施状況、性別によるモヤモヤ事例、
話彩やの声を踏まえたメンバーの意見等について報告



- 4 出席者 平井知事
みんなで話彩やチームのメンバー6名
木村 海翔 〔鳥取大学地域学部3年〕
中野 麻衣 〔訪問型助産院 my pace〕
西山 香菜子 〔鳥取商工会議所〕
奥野 絵美 〔県政策戦略本部とっとり未来創造タスクフォース〕
松本 菜那 〔県男女協働未来創造本部県民運動課〕
森本 早智 〔県男女協働未来創造本部未来創造課〕



5 主な報告内容

（1）みんなで話彩やの実施状況

地域、学校、子育て、移住、企業、農業、報道、議会等の様々な属性・年代の集まり、団体等の県民との「みんなで話彩や」を開催（17団体等、136名（プレ開催含む））

（2）性別によるモヤモヤ事例

- ・区長の選出の時、女性を選考したら、女には無理じゃないかと言われた。
- ・管理的な仕事をしていると、女性なのに頑張っているねと言われた。
- ・農業の主体は男性で、女性は手伝っていると言われることがある。

→モヤモヤ事例は、家庭・地域・職場・学校など様々な場面で多数存在

（3）声を踏まえたメンバーの意見等

モヤモヤを解消し誰もが働きやすく暮らしやすい環境にするためには、アンコンシャス・バイアス等に気づいていない方・無関心層への情報発信、県民の話し合いや理解を深める場の提供、各地域や分野・団体等における自主的な行動や取組の波及の促進等が必要 等

6 今後の展開

みんなで話彩やで把握した課題等を踏まえ、アンコンシャス・バイアス解消等に向けた県民運動を更に広げ、各業界・団体・地域等における自主的な行動や取組を促していく仕組みを展開。